

大事なお知らせとお願い

● 援助活動を行うときは、必ず会員証をご持参ください。会員証をお持ちでない方は、至急、写真2枚（縦3cm×横2.5cm）をセンターまで郵送してください。

● 卒園・入園・入学などで状況が変わり、活動内容に変更のある方、住所や携帯番号に変更のある方など、登録した内容に変更のある方はセンターに連絡をお願いします。

また、転出される方は退会の手続きをお願いします。



● センターでは、会員さんが安心して相互援助活動ができるように保険に加入しています。連絡のない援助活動についてはファミサポの活動と認められず、万が一の場合、保険の対象とはなりません。ファミサポの活動が決まった時点で、依頼会員さんがセンターへ連絡してください（活動の月日・時間・内容）。また、キャンセルになった場合もお知らせください。

メールまたは電話にてご連絡を受付しています。

● センター主催の講習会は、すべての会員さんが子育てに関して共通の認識を持つことや子育ての不安解消、健康管理などを目的にテーマを決めて開催しています。より安全・安心なファミサポ活動のために、積極的な講習会への参加をお願いします。

また、援助・両方会員の皆さまは、救命講習と子どもの事故防止講習が少なくとも5年に1回受講必須になっております。これまでに、この両講習を受講したことがない方は、第1回講習会にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、定期普通救命講習については、大阪南消防組合での実施となりますので下記をご覧ください、ご参加される方は、大阪南消防局 救急課へご連絡ください。

令和6年度 大阪南消防組合による「普通救命講習I」の講習会

| | |
|----------|---|
| 開催日・開催場所 | 令和6年7月13日（土）羽曳野市（陵南の森公民館） 令和6年10月12日（土）柏原市（詳細未定） 令和6年11月24日（日）藤井寺市（詳細未定） 令和7年2月8日（土）柏原市（詳細未定） ※各講習会の定員は先着30人となっております。 |
| 講習時間 | 13:30～16:30（3時間） ※令和6年10月12日（土）の講習のみ9:30～12:30 ※AED（自動体外式除細動器）の使用方法を含めた、応急手当などの講習です。 |
| 申込方法 | お電話にて直接お申込みください。 その際、お名前とご連絡先をお伝えください。 ☎072-958-9932（大阪南消防局 救急課） |

第90号ファミサポだより

令和6年7月



発行：〒584-8511 富田林市常盤町1番1号
富田林市ファミリー・サポート・センター
TEL 0721-25-1000 (内線283)
FAX 0721-24-8976

ホームページアドレス <http://ton-ton.jp>

Eメールアドレス k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

少しずつ暑くなってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？年度が替わり、早いもので3ヶ月が経とうとしています。ファミサポでも入会・退会された方が多く、会員の皆さまにもいろいろな出会いと別れがあったのではないのでしょうか？今年度も新しい出会いを大切に安全・安心して活動ができるようサポートしていきたいと思います。今後ご協力よろしく願いいたします。

令和6年5月31日現在

依頼会員 122名

援助会員 67名

両方会員 11名

合計 200名

活動件数 ◆12月 52件 ◆1月 60件 ◆2月 55件 ◆3月 60件 ◆4月 57件

活動報告書より抜粋



車での移動中、調理実習の話をたくさんしてくれました。「じゃがいもの芽は毒がある」など詳しく話してくれ「今日、お母さんに作ってあげられるね」と言うと「じゃがいもがあったら作れる」と嬉しそうにしていました。

(10歳の援助者)

大好きなアートのテレビを見てピカソの話をしてくれました。いろんな美術館をよく知っていて、私も幼い頃、親に連れられ美術館や個展に行きましたが、とてもアート好きで感心します。(7歳の援助者)

大きくなって、「ほしぐみさんになったよ」と教えてくれました。保育園のお部屋に入ると、かばんや水筒、上着などテキパキと決められた場所にお片付けしていき感心しました。(5歳の援助者)

習い事へ向かう道中、自転車に乗せてもらって帰るお友達を走って追いかけて坂道を登り、ピアノ教室の近くでは、かくれんぼをして楽しみました。元気にレッスンを受けていました。(5歳の援助者)

ひらがな、カタカナ、漢字、1年生で習った字をたくさん書いて見せてくれました。なぞなぞやママゴト、学校もピアノも楽しいと話していて、楽しさがとても伝わってきました。(7歳の援助者)



保育園へ送るまでの預かりの時間で、お気に入りの万華鏡を覗いて、ボールの投げ合いっこをしました。投げるのも、受けるのも、とても上手で驚きました。(5歳の援助者)

前回講習会の報告

テーマ：発達が少し気になる子どもとの関わり方

日時：令和6年3月22日（金） 午前10時～11時

講師：富田林市役所 職員（心理士）



子どもの発達について講習会を開催しました。

発達障がいとは、脳機能の発達が関係する障がいであり、障がいの程度や年齢・生活環境等によっても症状が違います。

複数の障がいが重なって現れることもある為、関わり方はその子の特徴や状況によって変える必要があります。

当日は参加者が安心して講習会に来ていただけるよう託児を設け、参加者のお子さんの保育ができるスタッフを配置しました。



講習会が始まって最初に学んだ事は、気になる行動が起きた時に、いつ・どこで・誰と・何をしている時といった事を意識して記録し、お子さんと関わっている他の人にも家庭以外の様子を聞くなど、『観察する事』が大事という事です。発達障がいには、知的な障がいがある子、ない子、複数の障がいをもつ子など様々なので、観察をする事が関わり方のヒントになる事もあります。

まず、話しかけるタイミングとしては、子どもが怒っていたり、テンションが上がっている時には声掛けはほぼ届きません。少しずつ静かな遊びに誘導したり、感情が落ち着いてから話しかけることを意識し、小さな子には「今から話すよ」など声掛けすると伝わりやすいです。

話し方では、例えば「廊下は走ってはいけません」と言うと、走らない時はどうすればいいかわからないという場合や、走るとどうなるんだろう、と興味を抑えられずにやってしまう場合もあるので、できる限り「廊下は歩きましょう」等肯定的な言葉を用いて、ゆっくり穏やかに伝える事が大切です。曖昧な言葉では理解できない場合がある為、段階を分けて説明するなど、やってほしい事を具体的に話すようにしましょう。

言葉だけの指示よりも、目を見た物から考える事が得意なお子さんもいており、話しかけながら写真や絵カードを示すと理解が深まる場合があります。聞いた事をすぐに忘れるという場合も、紙に書いておくなど、見て何度も確認できれば補えるという可能性もあります。



足し算をする前に数字を分かっているか、というように、してほしい事の前の段階が十分に理解できているかを気にするようにしましょう。大人も同じなように、何事も少しずつできるようになります。いきなり満点を求めず見守る気持ちが大切だという事を学びました。

《参加者の声》

- ・原因は見えない部分にあるかもしれないという所で、だからこそお子さんを観察して、この子にはどんなやり方があるのか、一人一人に合わせる事が大切なんだと改めて思いました。
- ・『いきなり満点を求めない』は、頭で分かっているつもりでも、つい求めてしまっている所があるので再確認させられた。

第1回講習会のご案内



『 子どもの事故防止及び救命講習 』

日時 ☆ 令和6年7月26日(金)、午前10時～11時45分
【受付】 午前9時45分～

場所 ☆ Topic2階 グループ活動室 A ・ ワーキングルーム

講師 ☆ 消防署員及び健康づくり推進課職員

内容 ☆ 子どもに多い事故と未然に防ぐための注意点、心肺蘇生法や AED の使用方法など
※大人のみではなく、乳幼児向けの心肺蘇生法等も学びます

対象 ☆ ファミサポ会員 及び 本市民

定員 ☆ 15人 (申し込み先着順)
※保育あり (事前に申し込み下さい)

申込期間 ☆ 令和6年7月8日(月)～19(金)まで

申し込み ☆ 電話: 0721-25-1000(内線 283)
メール: k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp
※メールでの申し込みは、件名に「ファミサポ講習会」とご記入ください



今年度は富田林消防署での救命講習はございませんので、援助会員様・両方会員様はファミサポ講習会での受講を推奨させていただきます。

- ※ なるべく公共交通機関をご利用ください。やむを得ず車で来られる場合は、市役所駐車場をご利用ください。
- ※ 当日、お子さんが同伴の場合は保育が必要です。お子さんの飲み物・着替えなどは、各自でご準備ください。